様式１

大阪市立大学大学院文学研究科若手研究者中長期海外渡航助成申請書

（西暦）　　　年 　月 　日

大学院文学研究科長 様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　渡航助成申請者

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　専修名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　学籍番号

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名

　下記のとおり、中長期海外渡航助成に申請します。

|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題名 | (和文) |
| (英文) |

1.申請者情報等

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | | (フリガナ) (姓)　　　　　　　　　　(名)  (漢字等)　 (姓)　　　　　　　　　　(名) | |
| 戸籍名  (上記氏名と異なる場合に記入) | | (フリガナ) (姓)　　　　　　　　　　(名)  (漢字等)　 (姓)　　　　　　　　　　(名) | |
| ローマ字表記  (パスポート記載名) | | (ローマ字) (姓)　　　　　　　　　　(名) | |
| 国籍 |  | | |
| 生年月日 | (西暦)　　　　年　　　　月　　　　日 | | |
| 後期博士課程 | 入学年 | | (西暦)　　　　　年　　　　月　　　　日 |
| 専修 | |  |
| 渡航を希望する期間 | | | (西暦)　　　　年　　　月　　　日　～　　　　　年　　　月　　　日 |
| 渡航国 | | |  |
| 後期博士課程における指導教員 | 氏名 | | (フリガナ) (姓)　　　　　　　　　　(名)  (漢字等)　 (姓)　　　　　　　　　　(名) |
| 専修 | |  |
| 職名 | |  |
| 海外における受け入れ研究者 | 氏名 | | Family name First name Middle name  (英文) |
| 受け入れ研究者が日本人の場合、漢字でも記入してください。  (漢字等)　 (姓)　　　　　　　　　　(名) |
| 機関名 | |  |
| 部局名 | |  |
| 意見書作成者(指導教員と異なる場合に記入) | 氏名 | | (フリガナ) (姓)　　　　　　　　　　(名)  (漢字等)　 (姓)　　　　　　　　　　(名) |
| 専修 | |  |
| 職名 | |  |
| 海外における研究・留学歴  (1か月以上。語学研修は含みません。該当がない場合は「該当なし」と記入してください。) | | | 訪問先  目的  期間　(西暦)　　　年　　　月　　　日　～　　　　年　　　月　　　日 |
| 訪問先  目的  期間　(西暦)　　　年　　　月　　　日　～　　　　年　　　月　　　日 |
| 訪問先  目的  期間　(西暦)　　　年　　　月　　　日　～　　　　年　　　月　　　日 |
| 訪問先  目的  期間　(西暦)　　　年　　　月　　　日　～　　　　年　　　月　　　日 |
| 申請者の連絡先 | | | 電子メールアドレス  電話番号 |

**2．現在までの研究状況**

（図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。様式の改変・追加は不可（以下同様））

①これまでの研究の背景、問題点、解決方策、研究目的、研究方法、特色と独創的な点について当該分野の重要文献を挙げて記述してください。

②申請者のこれまでの研究経過及び得られた結果について整理し、①と関連づけて説明してください。「研究成果等」欄に記載した論文等を引用する場合には同欄の番号を記載するとともに、申請者が担当した部分を明らかにして記述してください。

③日本学術振興会科学研究費助成事業「若手研究者海外挑戦プログラム」に応募した申請書の内容と同一のものである必要はありません。

|  |
| --- |
|  |

**3．研究成果等**査読中・投稿中のものも含む

（下記の項目について申請者が中心的な役割を果たしたもののみ項目に区分して記載してください。その際、通し番号を付すこととし、該当がない項目は「なし」と記載してください。申請者にアンダーラインを付してください）論文数、学会発表等の回数が多くて記載しきれない場合には、主要なものを抜粋し、各項目の最後に「他○報」等と記載してください。）

(1)学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文、著書（査読の有無を区分して記載してください。査読中又は投稿中の場合にはその旨分かるように明記してください。著者（申請者を含む全員の氏名（最大２０名程度）を、論文と同一の順番とします）、題名、掲載誌名、発行所、巻号、pp開始頁－最終頁、発行年をこの順で記入してください。）

(2)学術雑誌等又は商業誌における解説、総説　(1)と同様に記載してください。

(3)国際会議における発表（口頭・ポスターの別、査読の有無を区分して記載してください。著者（申請者を含む全員の氏名（最大２０名程度）を、論文等と同一の順番で記載すること）、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載してください。発表者に○印を付すこと。発表予定のものも含めて構いませんが、発表予定である旨明記して記載してください。）

(4)国内学会・シンポジウム等における発表　(3)と同様に記載してください。

(5)特許（申請中、公開中、取得を明記してください。ただし、申請中のもので詳細を記述できない場合は概要のみの記述で構いません。)

(6)その他（受賞歴等）

|  |
| --- |
|  |

**4．派遣先における研究計画**

(1) 研究目的・内容（図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください）

①研究目的、研究方法、研究内容、特色と独創的な点について記述してください。

②どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのかを、具体的に記入してください。

③なお共同研究の場合には、申請者が担当する部分を明らかにしてください。

④日本学術振興会科学研究費助成事業「若手研究者海外挑戦プログラム」に応募した申請書の内容と同一のものである必要はありません。

|  |
| --- |
|  |

(2) 外国で研究することの意義（派遣先機関・指導者の選定理由）

①申請者のこれまでの研究と派遣先機関（指導者）の研究との関連性について記述してください。

②内外の他研究機関（研究者）と派遣先機関（指導者）とを比較し、派遣先で研究する必要性や意義について明らかにしてください。（フィールドワーク・調査研究を行う場合、派遣先地域で研究する必要性や意義を中心に述べても構いません。）

④日本学術振興会科学研究費助成事業「若手研究者海外挑戦プログラム」に応募した申請書の内容と同一のものである必要はありません。

|  |
| --- |
|  |